

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-31	高等学校	商業	ネットワーク管理	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	商業 751	ネットワーク管理		

1. 編修の基本方針

- (1) ネットワークやセキュリティに関する用語については、初出の時点で解説するようにしている。ただし、ビジネス情報分野の基礎的な位置づけである「情報処理」で取り扱っている用語については、解説していない場合がある。
- (2) 職業及び生活との関連がわかるように、できる限り身近な事例を扱った。
- (3) 主体的に社会の形成に参画する態度を養えるように、簡単なネットワークの構築や設定、運用管理の技術を身に付けられる例を扱った。
- (4) 主体的かつ対話的で深い学びが出来るように、知識だけではなく、分析して考察する学習も取り入れた。
- (5) 重要語句には、出来る限り英字ルビを付けるように配慮した。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 企業活動と情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の知的好奇心に応えられるように、補足的な内容を「ワンポイント」として設けた（第1号）。 ・学習する内容が、実社会でどのように役立てられているかを示し、学ぶ知識がビジネスでどのように活用されているのかが理解しやすくなるように配慮した（第2号）。 ・学習する内容が、企業でどのように役立てられているかを例示し、将来の職業について生徒がイメージできるようにした（第2号）。 ・教科書に登場する人物の男女バランス（人数）が偏らないように配慮した（第3号）。 ・探究問題で話し合う場面を取り入れることで、他者の考えを尊重し、協調できるようにした（第3号）。 	<ul style="list-style-type: none"> p. 12, p. 14, p. 16 p. 16～17 p. 7～12 p. 6～9, p. 10, p. 11, p. 12, p. 20 p. 20

<p>第2章 情報通信ネットワークの設計・ 構築と運用管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の知的好奇心に応えられるように、補足的な内容を「ワンポイント」や「Column」として設けた（第1号）。 ・さまざまな構成や接続方法をイラストで示すことで、主体的に学びやすくするようにした（第2号）。 ・教科書に登場する人物の男女バランス（人数）が偏らないように配慮した（第3号）。 ・探究問題でお互いに紹介し合う場面を取り入れることで、他者の考えを尊重し、協調できるようにした（第3号）。 	<p>p. 25, p. 33, p. 36, p. 47, p. 49</p> <p>p. 28～30, p. 36～38</p> <p>p. 24, p. 28, p. 29, p. 64, p. 65</p> <p>p. 70</p>
<p>第3章 情報セキュリティ管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の知的好奇心に応えられるように、補足的な内容を「ワンポイント」や「Column」として設けた（第1号）。 ・実際の企業でも起こりうるシチュエーションを想定し、疑問点を考えさせ、どのようにすればよいかを考えさせる問題を設けた（第2号）。 ・物理的な脅威として自然災害をイラスト付きで取り上げることで、身近な環境への保全へ寄与できることに興味を持てるようにした（第4号）。 ・伝統や文化を尊重するという観点から、演習問題の題材として、日本の有名な歴史上の人物の名前を取上げた（第5号）。 	<p>p. 72～85, p. 97, p. 125</p> <p>p. 89, p. 103</p> <p>p. 124</p> <p>p. 97</p>
<p>巻末資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文で扱った以外の情報処理関連の語句を紹介した（第1号）。 	<p>p. 134～141</p>
<p>見返し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の中で、情報資産や情報通信ネットワークがどのように利用されているかを示した（第2号）。 	<p>前見返し</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- (1) 国家及び社会の形成者として必要な資質を養えるように、知識を羅列するだけでなく、見方を変えることで違った考え方ができる記述（『考えてみよう』）を各所で扱った。
- (2) 専門的な知識、技術及び技能を習得できるように、用語から、その用語の掲載ページが検索できるように、できるだけ多くの専門用語を索引に掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-31	高等学校	商業	ネットワーク管理	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 751	ネットワーク管理		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「ネットワーク管理」が、商業科のビジネス情報分野における応用的な科目であることを鑑み、生徒が興味を持って学習しながら、発展的な内容を無理なく習得できるように、以下の点について配慮した。

- (1) 「第1章 企業活動と情報通信ネットワーク」では、学習指導要領の「(1) 情報資産の共有の重要性」について、情報通信ネットワークを構築し、情報資産を共有してビジネス活動を展開している具体的な事例と関連付けて取り上げ、「(1) イ 情報通信ネットワークの形態と通信」と「(1) ウ ネットワーク機器と周辺機器の種類・機能」については、学習の流れを考慮し、第2章で扱うこととした。
- (2) 「第2章 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理」では、マイクロソフトのWindows系OSを前提とした実習を取り上げた。実習は段階的にネットワークを構築、運用・管理する内容を中心とし、一つひとつの例題を短く区切り、難解にならないよう心掛けた。大きな流れは、学習指導要領の「(3) 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理」のアからエに沿う形にしたが、学習の流れを考慮し、「(1) イ 情報通信ネットワークの形態と通信」と「(1) ウ ネットワーク機器と周辺機器の種類・機能」は、第2章の2, 3節で扱うこととした。
- (3) 「第3章 情報セキュリティ管理」では、学習指導要領の「(2) 情報セキュリティ管理」について扱い、1節では主に代表的な脅威と脆弱性について取り上げ、2節以降で、その対策を出来るだけ具体的な事例をもとに記述するよう心掛けた。
- (4) 巻末には、本文で取り上げられなかったセキュリティに関連する語句を中心に一覧の形で掲載した。
- (5) 前見返しには、あまりなじみのない情報資産やネットワークへの興味を喚起するため、生活の中でどのように利用されているかを示した。後見返しには、3章で扱ったセキュリティ管理に関する内容について、節ごとにダイジェストのような形で示した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第 1 章 企業活動と情報通信ネットワーク	(1) 企業活動と情報通信ネットワーク	p. 6	(6)
1 節 情報資産の共有の重要性	ア 情報資産の共有の重要性	～	3
2 節 情報通信ネットワークの形態と通信		p. 20	3
第 2 章 情報通信ネットワークの設計 ・構築と運用管理	(3) 情報通信ネットワークの設計 ・構築と運用管理	p. 21	(3 4)
1 節 情報通信ネットワークの設計方法	ア 情報通信ネットワークの設計方法	～	4
2 節 情報通信ネットワークのしくみと通信方法	(1) 企業活動と情報通信ネットワーク イ 情報通信ネットワークの形態と通信	p. 70	4
3 節 ネットワーク機器	ウ ネットワーク機器と周辺機器の種類・機能		6
4 節 情報通信ネットワークの構築方法	(3) 情報通信ネットワークの設計 ・構築と運用管理 イ 情報通信ネットワークの構築方法		8
5 節 情報通信ネットワークの運用と障害対策	ウ 情報通信ネットワークの運用と障害対応		8
6 節 システム監査	エ システム監査		4
第 3 章 情報セキュリティ管理	(2) 情報セキュリティ管理	p. 71	(3 0)
1 節 情報セキュリティ管理の目的と重要性	ア 情報セキュリティ管理の目的と重要性	～	8
2 節 人的対策	イ 人的対策	p. 133	8
3 節 技術的対策	ウ 技術的対策		8
4 節 物理的対策	エ 物理的対策		6
		計	7 0